

1 単元名 球技（ネット型）

2 単元の目標

- 個人的技能や集団的技能を高め、空いた場所をめぐる攻防を展開できるようにする。（技能）
- 課題や作戦についての話し合いやチームでの練習や試合に自主的かつ公正に取り組むことができるにする。（態度）
- 球技の特性や成り立ち、技術の名称や行い方、関連して高まる体力を理解し、自己やチームの課題を解決するための練習方法を考えたり、互いにアドバイスしたりできるようにする。（知識、思考・判断）

3 単元について

(1) 教材観

バレーボールは、コート上のネットを挟んで相対し、身体やボールを操作してボールを空いている場所に返球し、点数を競い合うネット型の球技である。場やルールを工夫することで、ボールを操作する動きや空いた場所をめぐる攻防の楽しさを味わいやすくすることができる。しかし、ボールを繋げないと相手に得点を与えてしまうため、パスなどの基本的な技能を確実に身につけることやチーム内での連携した動きを習得することが大切となってくる。

(2) 学級の実態（男子*名，女子*名，計*名）

平成*年*月*日実施

①バレーボールは好きですか？	はい（*名）	いいえ（*名）	どちらでもない（*名）
②バレーボールではどんな事ができるようになりたいですか？	レシーブやパスを上手にする（*名）	サーブやアタックを強くする（*名）	ラリーが続けられるようにする（*名） チームプレー（*名）
③基本的なゲームのルールが分かりますか？	はい（*名）	いいえ（*名）	どちらでもない（*名）

全体的にバレーボールに対しては否定的な学級ではない。また、初めて扱う単元であることから、レシーブやトス、サーブ、アタックなど基本的な個人技能の習得への意欲が特に高いことが伺える。

(3) 指導観

活動にあたっては、前半は少人数やペアでできる練習を多く行うことでボールに触れる機会を多くしたり、ドリルゲームを行ったりすることで、基礎的・基本的な技能の習得を目指したい。後半は、習得した技能を十分に発揮できるようルールを工夫したゲームに取り組むことで、作戦会議やチーム練習の中で、助言し合ったり話し合ったりと生徒同士が主体的・対話的で深い学びを実践し、常に課題解決に努め、高め合える授業としていきたい。

4 単元の評価規準（学習活動に即した評価規準）

	運動への 関心・意欲・態度	運動についての 思考・判断	運動の技能	運動についての 知識・理解
学習活動に即した評価規準	① 仲間とともに協力しながらバレーボールの楽しさや喜びを◎積極的に味わおうとしている。 ② ルールやマナーを守り、分担された自己の役割を◎常に果そうとしている。	① ボール操作やボールを持たない動きなどの技術を身に付けるための運動の行い方◎のポイントを見付けている。 ② 自己やチームの課題を解決するための練習方法を◎具体的に選んでいる。	① 基礎的・基本的技能を身に付け、仲間と◎積極的にゲームを行うことができる。 ② 空いた場所をめぐる攻防を展開するためのボール操作◎と動きができる。	① バレーボールのルール、技術の名称、練習、作戦、試合の方法を◎具体例を挙げ書き出している。 ② バレーボールの試合運営やルール、審判方法があることを◎的確に理解している。

◎下線は十分に満足できる姿

5 指導と評価の計画（12時間扱い）

○指導の機会 ⇕ □ 観察の評価の機会(期間)

段階	時間	学習のねらい，学習活動	評価の観点				評価方法
			関意態	思考判断	技能	知識理解	
1 はじめ	1	<p>バレーボールの特性やルール，授業の取り組み方を理解する。</p> <p>1 オリエンテーションを行う。 ・単元の目標，バレーボールの特性を理解し，学習の見通しを立てる。学習の進め方を知る。 ・用具準備の仕方・片付けの方法を知る。 ・安全面での留意点を知る。</p> <p>2 試しのゲームを行う。</p>	① ↑				観察 学習カード
	2	<p>基本的なボール操作を身に付け，個人的技能を習得できるようにする。</p>	↓			① <small>(カード)</small>	
2 なか	3	<p>1 基本のボール操作を身につける。 ・サーブ（アンダーハンドサービス） ・レシーブ（アンダーハンドパス）</p>	① ↓ <small>(観察)</small>				作戦カード
	4	<p>・トス（オーバーハンドパス） ・アタック（ドライブの打ち方） ※グループでスキルワンポイントカードを活用しての学び合いをしながら個人的技能の習得を目指す。</p>			① ↑		
	5	<p>2 スキルテストを行う。</p>					
	6	<p>※ペアで実施し，学習カードを活用しながら進める。 3 ドリルゲームを行う。</p>			① ↓ <small>(観察)</small>		
2 なか	7	<p>簡易ゲームを通して空いた場所をめぐる攻防を展開することができるよう，集団的技能を習得できるようにする。</p>		① <small>(カード)</small>			作戦カード
	8	<p>1 スキルテストを行う。 2 グループで課題解決練習に取り組む。</p>			② ↑		
	⑨	<p>3 簡易ゲームを行う。 【セカンドキャッチゲーム】 ・バドミントンコートを使用。高さは1m85。 ・サーブは入る位置からアンダーハンドサーブ。 ・レシーブはノーバウンドで必ず処理。 ・トスはキャッチOK。 ・3段攻撃が成立すれば+1点。</p>					
	10		② ↑		② ↓ <small>(観察)</small>		
3 まとめ	11	<p>リーグ戦を行い，チームの仲間と協力して勝利を目指して積極的に取り組む。</p>	② ↓ <small>(観察)</small>			② <small>(カード)</small>	観察 学習カード
	12	<p>1 自己やチームの課題解決に向けた練習をする。 2 リーグ戦を行う。 3 単元をふり返り，学習内容の復習と今後の課題を確認する。</p>		② <small>(カード)</small>			

6 本時の学習

(1) 目標

○ 仲間と協力して空いた場所をめぐる攻防を展開することができる。 (運動の技能)

(2) 準備・資料

バレーボール, バドミントン調整式支柱, ネット, ホワイトボード, 学習カード, タブレット, 体育実技資料集, スキルワンポイントカード, 作戦カード

(3) 展開

学習活動・内容	指導上の留意点	評価の観点, 方法
<p>1 体力づくり運動をする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 5周ランニング ・サーキットトレーニング (腹筋 15回・背筋 15回・腕立て伏せ 10回・バーピー10回) ・ストレッチ <p>2 整列, 挨拶をする。</p> <p>3 本時のねらい (学習課題) を確認する。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <p>仲間と協力して空いた場所をめぐる攻防を展開することができる。</p> </div> <p>4 体ほぐし運動をする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 2人組でのボール運動 (馬跳びキャッチ・股くぐりキャッチ) <p>5 スキルテストをする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・アンダーハンドパス (30秒間) ・オーバーハンドパス (30秒間) ・ 2人組ラリー (1分間) ・サーブ (5本中の成功率) <p>6 グループで課題練習をする。</p> <p>【考えられる練習内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・サーブ練習, サーブカット練習 ・対人パス, 円陣パス など <p>7 ルールを工夫した簡易ゲームに取り組む。</p> <p>【方法】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・バドミントンコート4面使用。 ・ネットの高さ2m。 ・得点は時間内ラリーポイント。 <p>【ルール】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・3対3のローテーション制。 ・サーブはアンダーハンドサーブ。 ・レシーブ後のトスはキャッチ可。 ・3段攻撃が成功すれば+1点。 <p>8 整理運動と片付け, 学習のまとめを行う。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○ボールやコートなど, 使用する道具の安全を確認する。 ○安全な服装であること, つめは短いことを確認する。 ○肩周りを中心にストレッチするよう, 指導する。 ○生徒一人一人の健康状態を観察する。 ○T1は全体的な学習の進め方について指示をする。また, 全体の動きを把握する。 ○T2は具体的な見本を示しながら, 努力を要する生徒を中心にサポートする。 ○バレーボールの基本であるボールを落とさないことをゲーム性のある動きで楽しく活動し, 再確認できるようにする。 ◎グループ内でスキルテストを実施して, 基本的な技能が定着できるよう継続して取り組めるようにする。 ○苦手な生徒には, 見本を示したり, 資料やタブレットを活用したり, 技能のポイントを示す。 ◎兄弟チームで技能の習得状況を確認し合ったり, 教え合ったりしながら学び合いになるようサポートする。 ◎トスをキャッチするなどつなぎを緩和することでラリーを続けたり, 3段攻撃に挑戦したりバレーボールの楽しさを十分に経験できるようにする。 ○T1は男子をT2は女子を中心に観察し, ゲームの進行をサポートする。 ○巡回しながら, 技能が向上した生徒やよいプレーをしたときには, その場で賞賛し, 学習意欲を高める。 ○技能面だけにとらわれず, 安全面にも留意させながら取り組めるようにする。 ○学習カードをもとに, 学習の成果および課題を明確にし, 授業のふり返りをしつかりとさせ, 次時の活動に生かせるよう助言する。 	<p><技能②></p> <p>空いた場所をめぐる攻防を展開するためのボール操作 <u>◎と動き</u>ができる。 (観察・作戦カード)</p> <p>□空いた場所をめぐる攻防を展開するためのボール操作ができない生徒には, カバーリングを意識させ, 周りの動きをよく観察させる。</p>